



正月のお飾り

# 西林寺だより

発行元  
西林寺門徒総代会  
広島県安芸郡坂町  
坂東3-14-17  
(082)885-0018  
西林寺  
<https://sairinji.or.jp>



**杖のことば**  
お寺は「聴く」場  
生活は「聞こえる」場  
「聴く」から  
「聞こえる」が  
与えられる

## 近現代150年の歩み(3)

第11世住職の恵照は、明治5(1872)年に34歳で住職を普行に譲り、本堂を教場に充てて「坂村西基館」と称し、村民子弟の教育にあたります。西林寺では、それ以前より寺小屋で村民子弟の教育を行っていましたが、百姓の勉学には消極的であった幕末の政策もあって、限定的なものでした。西林寺本堂が教場であったのは1年間でしたが、以降も恵照・普行・普現と村民子弟の教育に注力を注ぎます。これが現在の坂小学校の前身です。

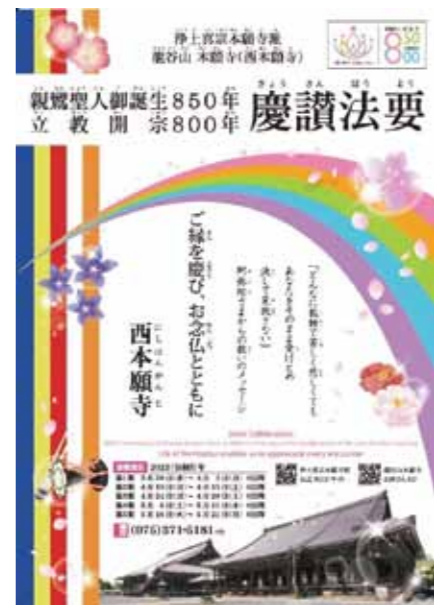
明治40(1907)年7月の大水害では、小学校の校舎が壊滅的な被害(児童中死者9名)を受け、1年間学年毎の分散授業となり、西林寺本堂でも授業が行われました。

その後、大正後期より戦火が激しくなる昭和16(1941)年まで日曜学校が開設され、情操教育の先駆けとして幼児教育に積極的に参画します。



## お知らせ

西本願寺では、飛雲閣(金閣・銀閣と並ぶ京都三名閣のひとつ)、唐門、そして阿弥陀堂の内陣と国宝の修復が相次ぎ完了し、3月29日(5月21日まで)修行されます親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の準備が着々と進んでいます。



西林寺では4月12日(水)より一泊二日の日程で団体参拝を計画しています。この慶讃法要期間中、さまざまな記念イベントが開催されますが、そのひとつ、京都南座で上演されます「若き日の親鸞」の観劇を予定しています。募集案内のパンフレットを差し込んでおきますので、この50年に一度のご縁に万障繰り合わせてご参加ください。

## 寄付御礼

次の尊い寄付を頂戴しました。ご芳志、厚く御礼申しあげます。

- 森河珠江様
- 金一封 門徒総代会へ
- 右、慧眼院釋徳善(森河大三郎様)
- 本願寺院号申請御礼として
- 桑原文雄様
- 久保順子様
- 原田一浩様
- 金一封 門徒総代会へ
- 右、西林寺護持協力金として
- 岡田敬三様
- 金一封 門徒総代会へ
- 右、願楽院釋俊徳(岡田周二様)
- 香典返礼として

西林寺では本堂内に募金箱を設置して「子どもたちの笑顔のために募金」への協力を呼びかけています。本願寺では全国から届けられたこの浄財で、子どもたちの笑顔のためにできる支援を行っております。

この度、この浄財より「西林寺みのり食堂」に「金十万円とお米30キロ」の支援をいただきました。

「子どもたちの笑顔のために募金」にご理解ご協力をよろしくお願ひします。

## 法座案内

### 御正忌報恩講

一月十五日(日) 昼席より  
十七日(火) 朝席まで  
『御伝鈔』上巻拝読 十五日夜席  
下巻拝読 十六日昼席  
講師 坂町小屋浦  
西昭寺 河野法誓師

### 御紐解法座

二月 十六日(木) 昼席より  
十八日(土) 朝席まで  
講師 山口県下松市  
勝賢寺 森田義見師

### 春季彼岸会

三月 二十日(月) 昼席より  
二十二日(水) 朝席まで  
講師 呉市蒲刈町  
浄泉寺 東元晃慈師

## 編集後記

今年こそは人との触れ合いの中に生きる喜びを覚えたコロナ禍以前の日常を取り戻せる一年になるのでしょうか。寺報『西林寺だより』が発刊されて7年を経過しました。この継続が少しでも多くの皆さまの仏縁に繋がれば幸いです。

### 聞思録(もんしりく)

年頭に一年の抱負を思案することも大切ですが、いつもお聞かせいただいているのは、今日というかけがえない今を大切に生きることです。このお聞かせいただくことを聴聞といい、「仏法は聴聞に極まる」と何よりも大切にします。

「聴」と「聞」はどちらも「きく」という意味ですが、「聴」という聴き方は言葉の辞書的意味を聴くことで、意識的(能動)に「きく」という時に用いられます。それに対して、「聞」とは響き(受動)を「きく」という時に用いられ、その聴こえたことよって心に全く新しい領域が開かれることを「聞」といいます。

「杖のこぼし」の「お寺は聴く場 生活は聞こえる場 聴くから聞こえるが与えられる」という言葉からは、仏法を聴聞する態度が知らされます。聴聞とは、お寺で聴くことが日々の生活の中で領けてくるように聞くことです。しかしそれは、お寺で聴くことがなければ生活の中では聞こえてきません。そして、自分の聴き方が正しかつたかどうか、いつも問われてゆかなければなりません。

ある女性が「母親のように聴聞したことが生活にじみ出るような人間になりたいのですが、私は特別我が強いので、その時の感情

に流されて、親に対してもついきつい言葉で言ってしまう、後になって自分が情けなくります。これだけ仏法を聞かせていただいても、何でこうなのかと思うと、おはずかしい情けないありさまです」と告白されました。

このような問いは仏法のご縁がなければおき起こりません。自分の物差し(都合)で生きていく限り、欲が起こったり、腹が立ったり、愚痴が出ることは、人間だから当たり前ではないかという思いに流されます。それが聴聞を続けてゆくと、それでは済まされなくなるのです。この告白は仏法のご縁にあつて

いるからこそ感じられてくるものです。しかし、「なかなかそうはいっても」という自分の物差しで聞いている限り、本当に大切なところが聞こえてきません。聴聞は自分の物差しで聞くのではなく自分の物差しを聞くことです。自分を知ることです。それは人知に立つ生き方から仏智に立つ生き方への転換です。「こういう私だからこそ、いよいよ聞き直してゆくしかない」というところに身を置き続けることが肝要です。「もうわかりました」という聞き方はありません。

先人の「聴けば聞える弥陀のご法義」とのご教示の通り、生活の中で聞き続けてゆくと、それは仏さまの呼びかけとなって聞こえてくるのです。この聞き続けるところに浄土真宗の確かさがあるのです。

### 中仏同窓会坂分会25周年

仏教の学びを深める中央仏教学院(中仏)通信教育創設50年の今年、同窓会広島支部坂分会が結成25周年を迎えました。

坂分会は坂町内3カ寺の寺院・門信徒の通信教育講座受講者による同窓会です。現会員は24名ですが、通信教育創設時より絶え間なく受講され、人口比率でいうと全国一の受講者数です。

11月16日に総会を開催し、西林寺住職にご法話をいただきました。



### 仏教婦人行事予定

- 毎月5日 理事会
- 毎月24日 役員勉強会
- 1月12日(木) おみがき・清掃奉仕

### 仏教壮年会行事予定

- 毎月10日 月例会(経典学習会)
- 1月12日(木) おみがき・清掃奉仕
- 3月4日(土) 安芸教区公開講座

### 西林寺みのり食堂

10月より3月までは、冬時間で1時間早く16時開始です。月1回ですがみんな楽しく食事をいただきます。



### お寺ヨガ教室

寒い時期は体を動かすのがおっくうになりがちですが、つとめて体の可動域をひろげてあげましょう。



今後の開催日

- 1月31日(火)
- 2月28日(火)
- 3月28日(火)

### ダーナ募金のお願い

「ダーナ」は他者を思いやる心の実践で、仏教では慈しみの心・支え合う心を実践するダーナ活動を推進しています。

宗門内外を問わず、町内外の社会福祉活動や貧困・人権・教育・環境保護活動等に支援しています。

今年もご協力をよろしく願います。

### 境内 松の木剪定作業

10月21日から松の木の剪定作業を行ないました。秋の剪定作業は「もみあげ」と呼び、松特有のものです。

松の木はとても手がかりますが、手入れするほど美しい樹形になるので手入れのし甲斐も大きいものです。



境内北側斜面にあつた松の木は、今春「樹心廟」の左手のよく見える場所に植え替えられ初めての剪定になりました。

### 仏婦・仏壮 あれこれ

#### 仏教婦人会主催報恩講

11月21日より23日まで、ご住職に講師をお願いして報恩講法座を修行しました。

今年もお斎は中止しましたが、聴聞に参られた皆さまと親鸞聖人のご遺徳を偲びながら、自身のいのちと向き合う大切なご縁をいただきました。



#### 供華研修会

11月5日、お仏壇にお供えする仏花(供華)の活け方研修会が開催されました。今年で3回目でした。

報恩講にお供えする仏花の活け方の基本を学び、参加者一同、報恩講を迎えるのが楽しみに感じました。

